

京都議定書目標達成計画の進捗状況の点検 (主要分野の動向)

平成25年9月5日

京都議定書目標達成計画の進捗状況

京都議定書目標達成計画(2008~2012年)における国土交通省の地球温暖化対策

・定量的な効果の施策 (24施策)

○排出削減量・吸収量目標値:9,630万トン~9,760万トン

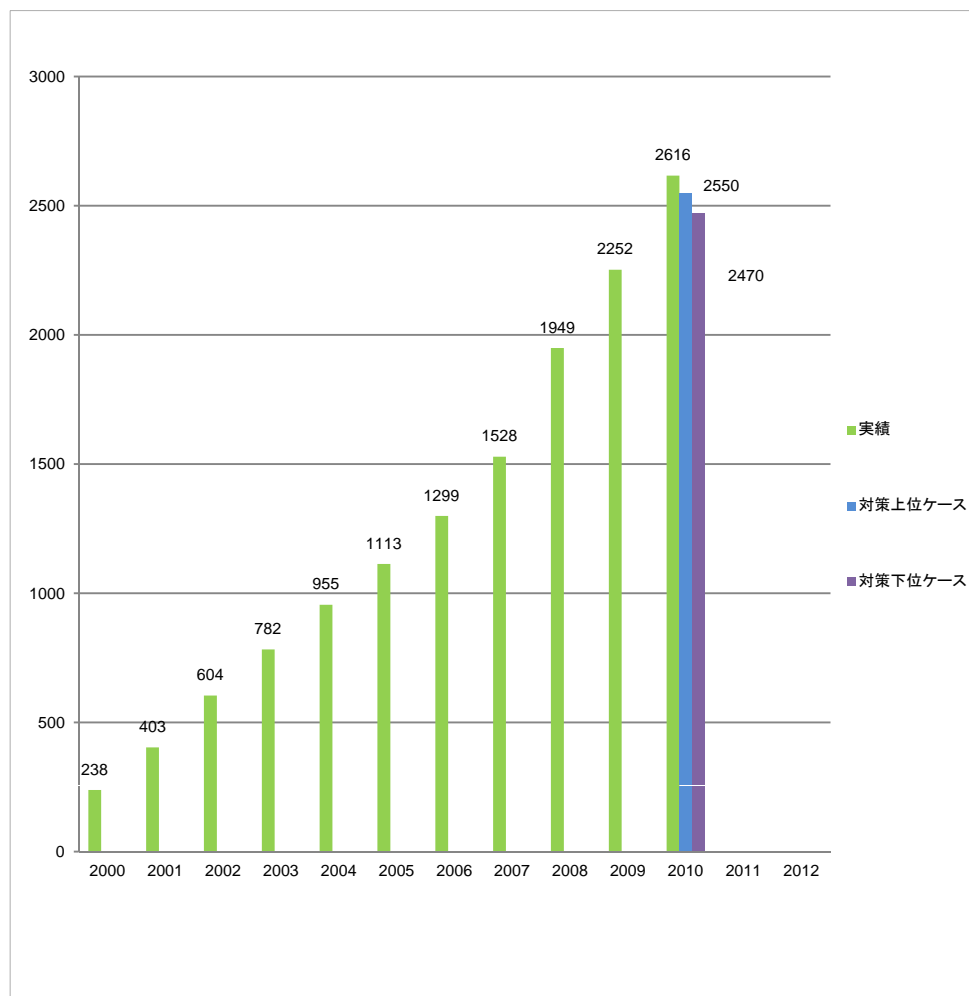
○京都議定書目標達成計画における国土交通省の地球温暖化対策
(定量的な効果の施策)

政府全体のCO2削減
目標の20~22%

対策名	排出削減量(万t-CO2)	
	最新の実績 (2007~2011年度)	2010年度目標
エネルギー起源二酸化炭素	8,928	9,430~9,560
○運輸部門	5,353	5,520~5,650
1 環境に配慮した自動車使用の促進 (エコドライブの普及促進等による自動車運送事業等のグリーン化)	141	139
2 自動車単体対策	2,252	2,470~2,550
3 高速道路での大型トラックの最高速度の抑制	84.6	47.1~96.8
4 高速道路の多様で弾力的な料金施策	24	20+α
5 自動車交通需要の調整	28.9	30
6 高度道路交通システム(ITS)の推進(ETC)	22	20
7 高度道路交通システム(ITS)の推進(VICS)	246	240
8 路上工事の縮減	65	68
9 ボトルネック踏切等の対策	17	18
10 海運グリーン化総合対策	111	126
11 鉄道貨物へのモーダルシフト	-12.5	80
12 トラック輸送の効率化	1,469	1,389
13 国際貨物の陸上輸送距離削減	233	262
14 省エネに資する船舶の普及促進	2	0.94
15 公共交通機関の利用促進	361	375
16 鉄道のエネルギー消費効率の向上	107	44
17 航空のエネルギー消費効率の向上	202	191
○業務・家庭部門	3,553	3,890
18 住宅の省エネ性能の向上	720	930
19 建築物の省エネ性能の向上	2,770	2,870
20 下水道における省エネ・新エネ対策の推進	63	90
○産業部門(建築施工分野)	22	20
21 建設施工分野における低燃費型建設機械の普及	22	20
○低炭素型の都市・地域デザイン	0.8~3.6	0.5~2.3
22 緑化等ヒートアイランド対策による熱環境改善を通じた都市の低炭素化	0.8~3.6	0.5~2.3
一酸化二窒素	80	126
23 下水汚泥焼却施設における燃焼の高度化	80	126
温室効果ガス吸収源対策	105	74
24 都市緑化等の推進	105	74
国土省合計	9,113	9,630~9,760

施策
全体の
65%

1. 排出削減量、対策評価指標の実績と見込み



排出削減量(万t-CO2)

2. 対策評価指標

- ・2015年燃費基準(16.8km/L)による省エネ効果
2010年度目標 940万kL → 実績 1,004万kL
※1995年燃費基準(12.3km/L)
- ・CEV自動車(クリーンエネルギー自動車)の普及台数
2010年度目標 69～233万台 → 実績 151万台
(省エネ効果 20～85万kl)

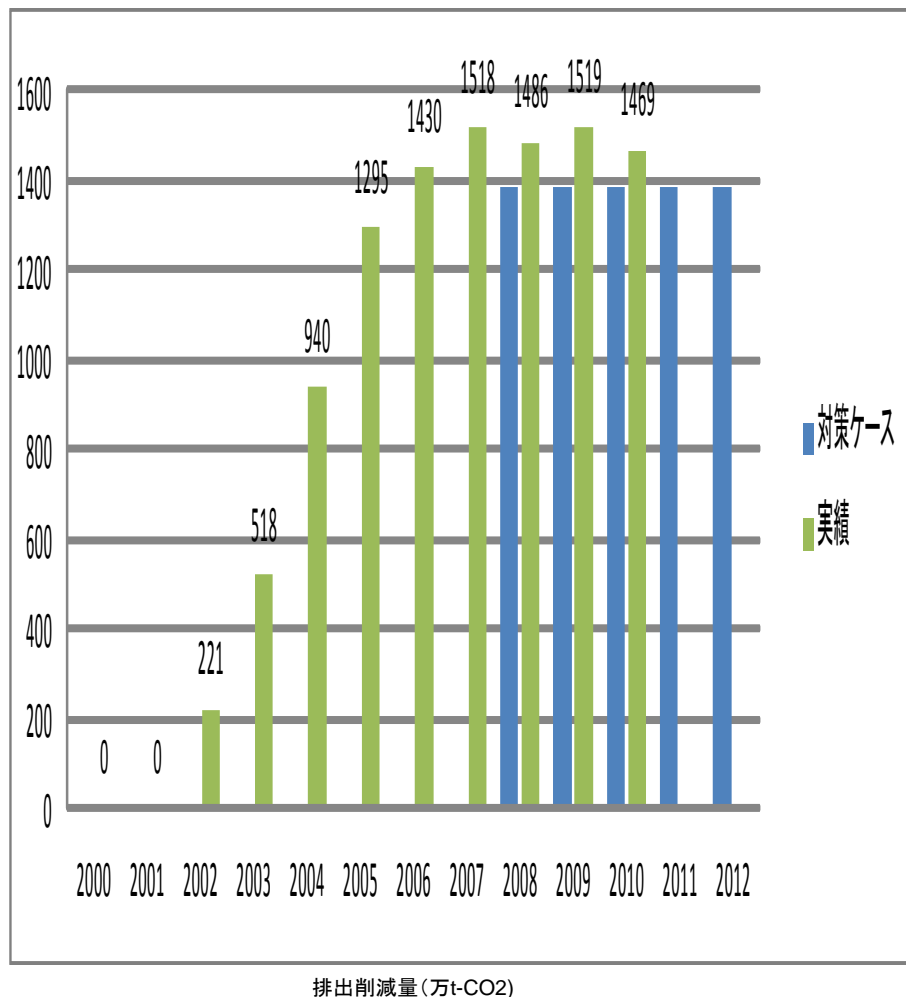
3. 評価

実績のトレンドが概ね見込み通り。

4. 対策・施策の追加・強化等

- ・2020年度乗用車燃費基準(20.3km/L)導入により、世界最高レベルの燃費改善に向けた技術革新を誘発
- ・環境対応車の導入拡大やインフラ整備に対する税財政上の支援

1. 排出削減量、対策評価指標の実績と見込み



2. 対策評価指標

- ・車両総重量24トン超25トン以下の車両の保有台数
2010年度目標 120,800台 → 実績 166,400台
※1996年度の保有台数 15,800台
※燃料削減効果 9,000L/台
- ・トレーラーの保有台数
2010年度目標 71,100台 → 実績 90,900台
※1996年度の保有台数 51,700台
※燃料削減効果 24,000L/台
- ・営自率(自動車貨物輸送量のうち営業用車両の割合)
2010年度目標 87.0% → 実績 89.4%
※2002年度の営自率 84.1%
※輸送トンキロ当たりのCO2排出量 営:自=1:7

3. 評価

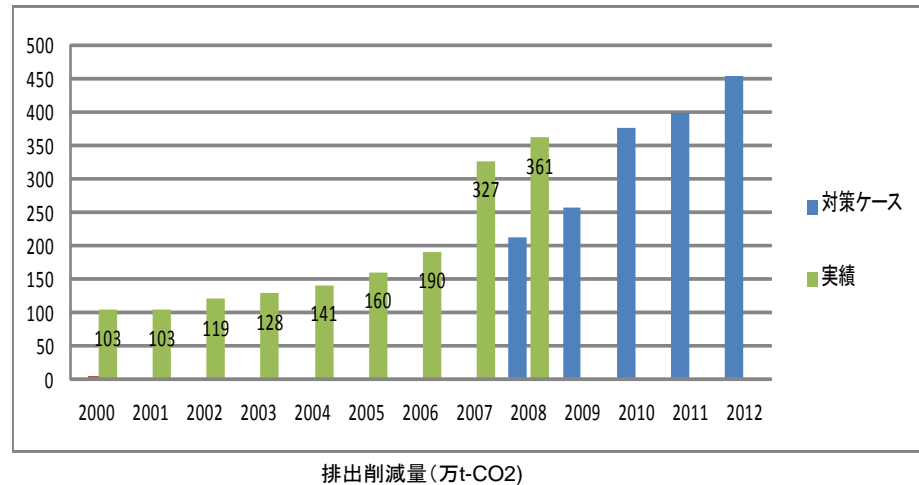
目標達成又は実績のトレンドが見込みを上回っている。

4. 対策・施策の追加・強化等

- ・「グリーン物流パートナーシップ会議」において、荷主と物流事業者の連携による優良事例の表彰等の推進
- ・大型CNGトラックを活用した低炭素中距離貨物輸送のモデル構築支援
- ・地域内輸送の大部分を占めるトラック輸送について、輸送効率の改善に資する共同輸配送を促進

公共交通機関の利用促進

1. 排出削減量、対策評価指標の実績と見込み



2. 対策評価指標

- ・マイカーから公共交通機関(鉄道・バス)へのシフト(1990年度比)
2008年度目標 2,020百万人増 → 実績 2,916百万人増

3. 評価

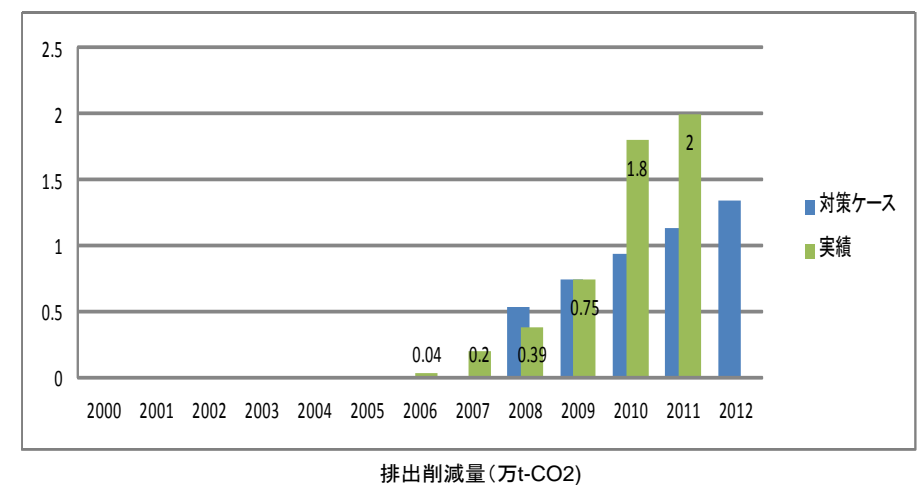
実績のトレンドが概ね見込み通り。

4. 対策・施策の追加・強化等

- ・鉄道やバスの利用促進に向けた環境整備
- ・エコ通勤優良事業所の認証制度の拡充

省エネに資する船舶の普及促進

1. 排出削減量、対策評価指標の実績と見込み



2. 対策評価指標

- ・スーパーエコシップ累積建造決定数(2005年度基準)
2011年度目標 40隻 → 実績 24隻

3. 評価

目標達成又は実績のトレンドが見込みを上回っている。

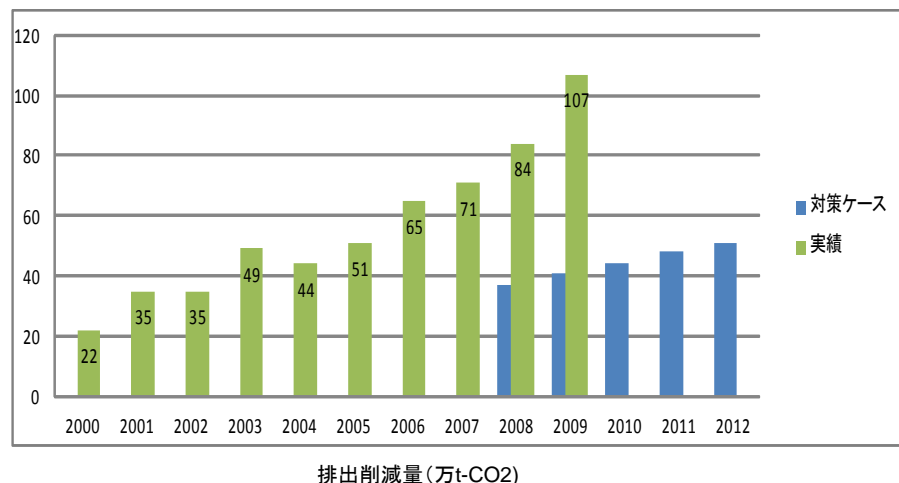
※1隻当たりの省エネ効果が目標設定時よりも改善

4. 対策・施策の追加・強化等

- ・スーパーエコシップ等の建造推進
- ・省エネに資する内航船舶の代替建造等を支援する税制措置

鉄道のエネルギー消費効率の向上

1. 排出削減量、対策評価指標の実績と見込み



2. 対策評価指標

- エネルギー消費原単位(運転電力使用量(kWh)／走行キロ(km))
2009年度目標 2.43kWh/km → 実績 2.23kWh/km

※1995年度のエネルギー消費原単位 2.60kWh/km

3. 評価

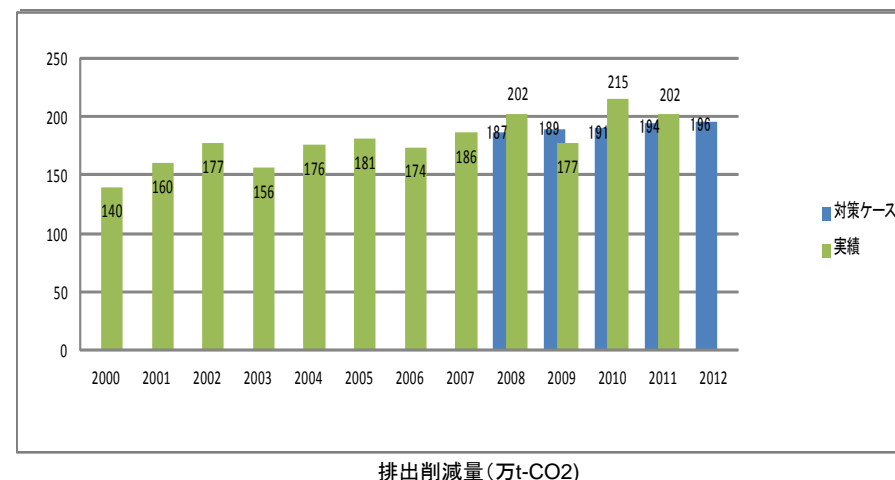
目標達成又は実績のトレンドが見込みを上回っている。

4. 対策・施策の追加・強化等

- 回生ブレーキの活用等による省エネ型鉄道車両の導入等、省電力化・低炭素化に計画的に取り組む鉄道事業者を支援する「エコレールラインプロジェクト」の推進

航空のエネルギー消費効率の向上

1. 排出削減量、対策評価指標の実績と見込み



2. 対策評価指標

- エネルギー消費原単位
(国内輸送における燃料消費量(L)／国内航空輸送量(人キロ))
2011年度目標 0.0518L/人キロ → 実績 0.0511L/人キロ

※1995年度のエネルギー消費原単位 0.0610L/人キロ

3. 評価

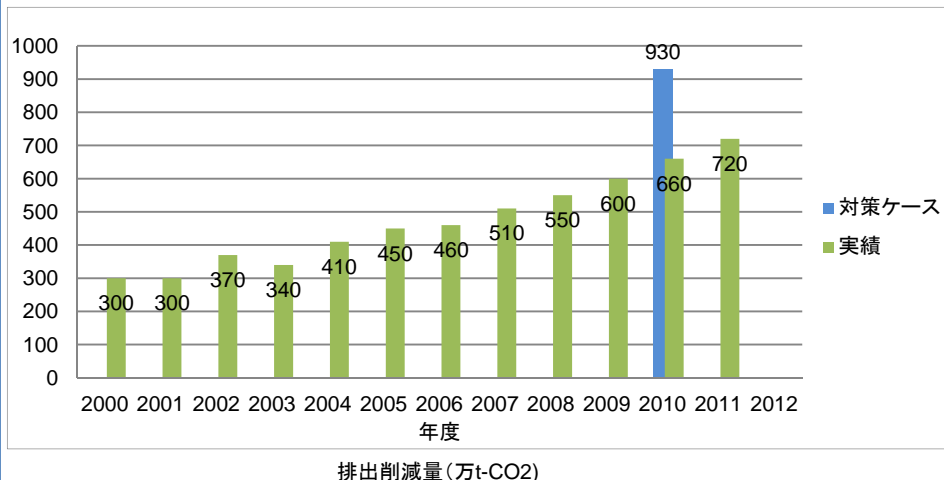
目標達成又は実績のトレンドが見込みを上回っている。

4. 対策・施策の追加・強化等

- 航空交通システムの高度化による運航方式の効率化
- 環境に優しい空港を目指す「エコエアポート」の推進

住宅の省エネ性能の向上

1. 排出削減量、対策評価指標の実績と見込み



2. 対策評価指標

新築住宅の省エネ判断基準(平成11年基準)の適合率
2011年度目標 69% → 実績 48%

※省エネ係数(2010年度): 対策ケース 0.79、自然体ケース 0.94
※エネルギー消費量(2010年度目標)
: 対策ケース 1,348万kL、自然体ケース 1,679万kL

3. 評価

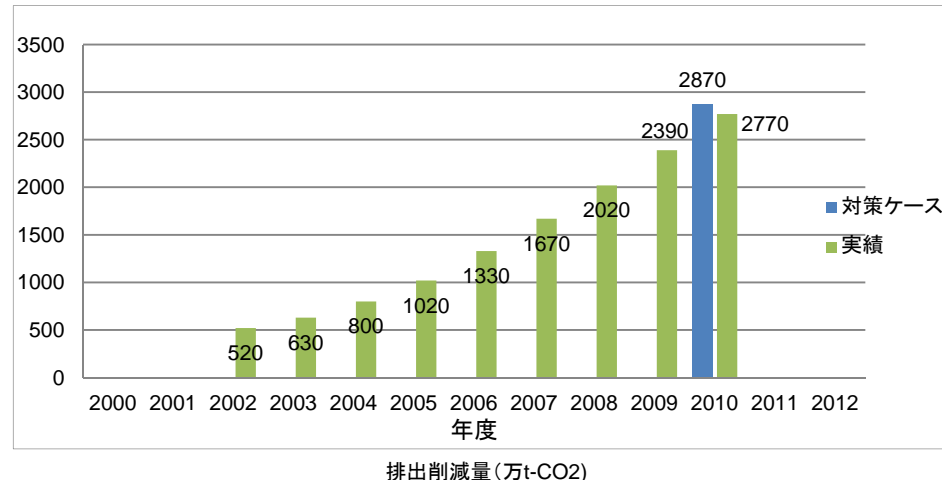
実績のトレンドが見込みと比べて低い。

4. 対策・施策の追加・強化等

- ・新築住宅の省エネ基準への適合義務化に向けた環境整備
- ・既存住宅の省エネ改修への支援

建築物の省エネ性能の向上

1. 排出削減量、対策評価指標の実績と見込み



2. 対策評価指標

新築建築物(2,000㎡以上)の省エネ判断基準(平成11年基準)適合率
2010年度目標 85% → 実績 88%

※省エネ係数(2010年度): 対策ケース 0.86、自然体ケース 0.99
※エネルギー消費量(2010年度目標)
: 対策ケース 7,849万kL、自然体ケース 8,708万kL

3. 評価

実績のトレンドが概ね見込み通り。

4. 対策・施策の追加・強化等

- ・新築建築物の省エネ基準への適合義務化に向けた環境整備
- ・既存建築物の省エネ改修への支援